

芦屋市議会議員

大原ゆうき

令和4年
6月定例会特集

Blog

ブログ、日々更新中!
<https://oohara-yuuki.blog.jp/>

大原 裕貴



@ooharayuuki

TOPICS

1

補助金制度。成果や取組内容の見える化を進めるべきでは？

6月定例会一般質問「SIBの導入を契機とした補助金制度の見直しについて」より

詳しくはこちら→



現状の課題

- 市から出している補助金について、その成果や取組内容が見えづらい。
- 補助費は例年の決算ベースで約10%程度を占める支出。補助費には個人給付も含まれているため、実際にはもう少し小さい金額になるが、一般会計の中でも大きなウエイトを占めている支出になっている。

外部状況など

- 愛媛県西条市では地域SIBを導入し、市民参画の促進と事業内容や事業効果の開示に繋げている。
- 芦屋市では、SIBではないが「芦屋市市民提案型補助金」という制度がある。SIBとは異なるスキームであるが、考え方としては成果連動型の補助金である。

確認事項

- 「芦屋市市民提案型補助金」制度を更に拡充・拡大させ、地域SIBを目指すことで既存の補助金制度の成果と取組内容を更に透明度を上げることはできないか。

当局答弁

市民提案型事業補助金の補助対象は、原則、市民活動団体等が新たに行う事業としているが、継続的な取組であっても質を高め、かつ発展した内容が追加されているものは応募を認めており、長期的な取組にも対応している。

その結果、複数年制度を利用後、自立した事業として継続されているケースもある。また芦屋市民活動センターではコミュニティビジネスに向けた相談や講座を行っており、当センターとの連携を強化する中でこの制度を推進していく。

補助制度はその目的と対象が明確であるべきと考えており、その一環として可能な限り団体補助から事業補助への見直しに取り組んできた。補助金の性質や成り立ちが多岐に渡ることも踏まえる必要があるが、補助金の成果と取組内容の見える化は重要だと考えており、市民提案型事業補助金における取組内容の発信、共有の仕組みの構築に取り組んでいく。

思うこと

現状の課題について、共有できたことは良かった。補助制度の見直しは短期スパンでは難しく、中長期スパンを見据えてやっていかないといけないものだと思うため、今後一層の改善を進めてくれることを期待する。

TOPICS
2

野良猫対策。市としても改善策を発信すべきでは？

詳しくはこちら→



6月定例会一般質問「野良猫に対する対応の強化について」より

現状の課題

- 野良猫が増えている地域がある。野良猫がごみステーションを荒らす事案もある。
- 野良猫の糞尿が放置されるとトキソプラズマ症(妊婦が感染すると胎児に大きな影響を与える可能性がある)など、衛生面への影響が出る。当然、臭いなど景観にも大きな影響を与えることになり、本市の魅力の部分にも影響を与えることになる。

外部状況

- 6月1日から改正動物愛護法による犬・猫へのマイクロチップ装着義務化がスタートしている。
- 迷子の犬・猫が飼い主のもとに戻りやすいというメリットもあるが、捨て猫等の抑制にも効果があるとされている。

確認事項

- マイクロチップ装着義務化は猫との共生をより強く進めていくという背景もあり、注目も集まっている。市として野良猫対策の発信に取り組むタイミングとしては適当なのではないか。

当局答弁

本市では、芦屋動物愛護協会のご協力のもと、長年に渡り行われてきたTNR活動により、ここ数年、飼い主のいない猫は減少傾向にあると認識しており、地域で飼い主のいない猫を増やさない取り組みとしては、TNR活動補助の継続とともに、マイクロチップ登録制度の普及啓発を行っているこの機会に、飼い主が責任と愛情を持って飼育することの大切さを啓発していく。

TOPICS
3

ルナ・ホールの愛称が変わりました。

- 2019年6月定例会の一般質問にて、ネーミングライツを用いた財源確保を提案。結果として、ネーミングライツパートナーを探す動きがスタート。
- 4月1日付でルナ・ホールに関するネーミングライツ事業に係る協定を締結。それにより、ルナ・ホールの愛称が以下のように変更となった。
(旧)ルナ・ホール
(新)ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール
- 契約年数は5年間。命名権料は年間300万円(税抜)。
市の想定を上回る好結果に。
- 今後は、指定管理者施設等も含めて検討する方針。
税金以外の財源確保の手法として期待がかかる。

プロフィール

- 昭和59年(1984年)2月8日 芦屋生まれ(38歳)
- 伊勢幼稚園、シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部を経て関西学院大学経済学部を卒業。卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務。
- 平成27年、芦屋市議会議員選挙にて初当選。平成31年、再選(現在2期目)

TOPICS
4

条例案可決。指定ごみ袋制度導入へ。

- ごみの分別と減量の推進を目的とし、指定ごみ袋制度を導入するための条例の改正案が提出され、可決。
- 指定ごみ袋制度の対象や価格、スケジュールは以下のとおり。

対象：燃やすごみ、燃やさないごみ

価格：市場価格(有料化はおこなわない)

試行開始：2023年4月～

本格実施：2023年10月～

所感

- 指定ごみ袋そのものには分別や減量効果はない。ただし、市民のごみ行政に対する注目を集める効果は期待できるため、周知啓発の徹底が必要。

- ごみ行政に対する関心の鮮度が高いうちに啓発による効果を出せなければ導入の意味がないため、導入のための導入にならないようにしてほしい。